

# ようこそ「へなそうるのへや」へ

渡辺茂男さんは、昭和40年から多摩市桜ヶ丘に在住し、平成18年にお亡くなりになるまでにたくさんの物語の執筆や欧米児童書の翻訳をされました。

茂男さんの長男である鉄太さんより、桜ヶ丘のご自宅を処分される際、茂男さんの著書等を多摩市の子ども達の為に活用して欲しいとお申し出があり、約200冊の寄贈を受けました。

また、今後も継続的に多摩市立図書館に寄贈して頂けるというご提案を頂き、平成26年4月より本館に、茂男さん・鉄太さんのコーナーを設けました。『もりのへなそうる』（渡辺茂男/作、山脇百合子/絵、福音館書店）は、茂男さんが鉄太さんら息子さん達と多摩丘陵を歩くうちに生まれたとても愛着のあるお話だとお聞きし、お2人のコーナーを「へなそうるのへや」と名づけました。

そしてここは、鉄太さん主宰のメルボルン子ども文庫（オーストラリアで暮らす子ども達に日本語の物語や文字文化に親しんでもらうための活動）と多摩市立図書館をつなぐ部屋でもあります。



なお、「へなそうるのへや」設置にあたっては、福音館書店と山脇百合子様より、『もりのへなそうる』に登場する全てのイラストの使用許可を頂いております。

多摩市立図書館